

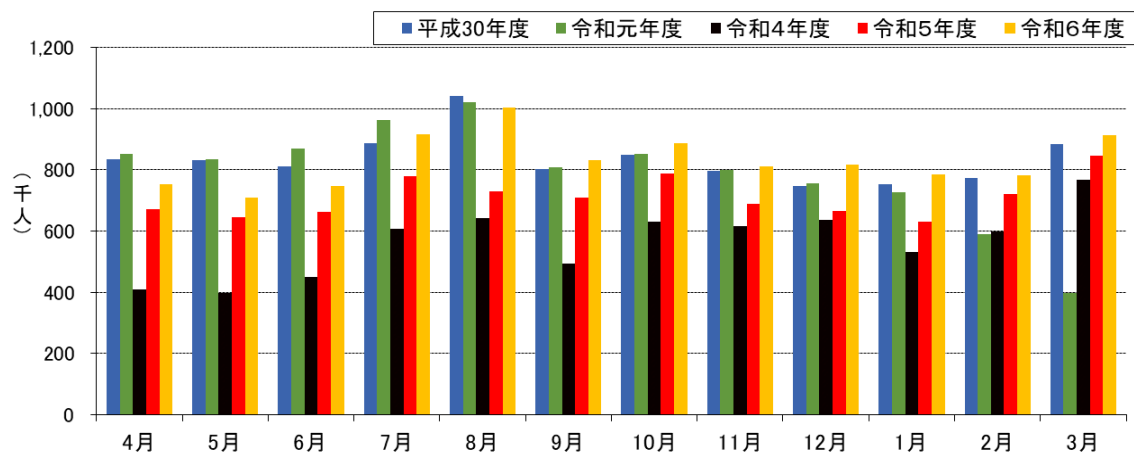
令和6年度 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
令和7年6月発表

令和6年度 995万2,700人
対前年度(R5)比 +142万100人、+16.6%
年度では過去2番目
※過去最高年度(H30)比 △5万1,600人、△0.5%

入域観光客数（国内＋外国）

■月別入域観光客数の推移（平成30年度、令和元年度、令和4～6年度）



■令和6年度入域観光客の状況（令和5年度・平成30年度との比較）

	(千人)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	752.3	710.4	748.0	915.4	1,003.8	830.9	886.9	811.2	816.4	783.4	781.4	912.6	9,952.7
令和5年度	669.8	645.2	663.4	778.8	728.6	710.1	788.3	688.2	666.7	629.2	719.2	845.1	8,532.6
増減数	82.5	65.2	84.6	136.6	275.2	120.8	98.6	123.0	149.7	154.2	62.2	67.5	1,420.1
増減率	12.3%	10.1%	12.8%	17.5%	37.8%	17.0%	12.5%	17.9%	22.5%	24.5%	8.6%	8.0%	16.6%
平成30年度	833.2	830.9	809.7	885.8	1041.5	801.5	849.3	795.2	747.5	753.5	772.2	884.0	10,004.3
増減数	-80.9	-120.5	-61.7	29.6	-37.7	29.4	37.6	16.0	68.9	29.9	9.2	28.6	-51.6
増減率	-9.7%	-14.5%	-7.6%	3.3%	-3.6%	3.7%	4.4%	2.0%	9.2%	4.0%	1.2%	3.2%	-0.5%

■令和6年度の概況（総括）

令和6年度の入域観光客数は995万2,700人となり、対前年比で142万100人増（16.6%増）となった。また、これまで最多を記録した平成30年度に対して99.5%の水準まで回復し、過去2番目となった。

令和6年度は、国内観光客数が過去最高を記録したほか、外国人観光客数についても、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航によりコロナ禍前（平成30年度）の水準に段階的に回復している。

令和7年度については、国内観光客数が好調な状況であること、外国人観光客数が航空路線の増便・新規就航があることやクルーズ船の寄港が多数予定されていること等から、引き続き好調に推移すると見込まれる。

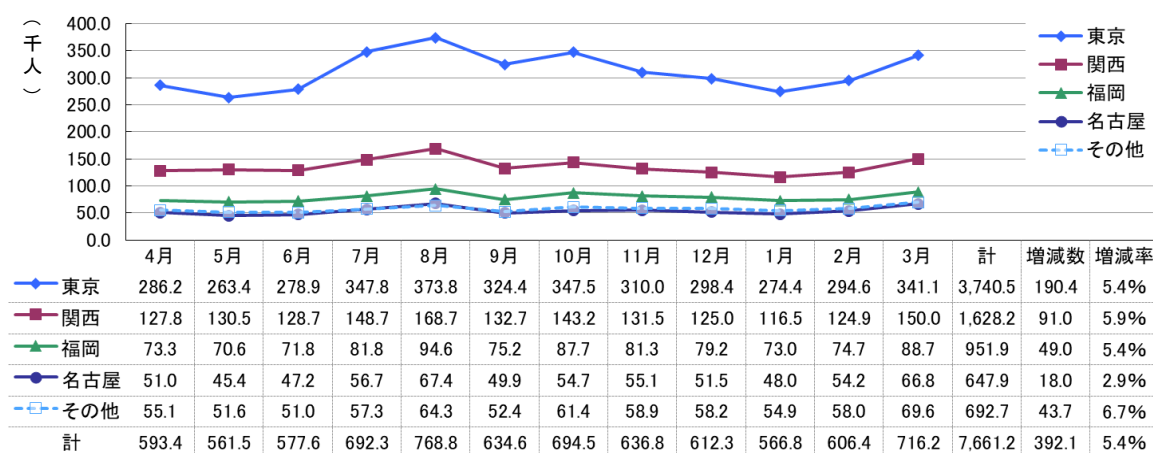
国内観光客についての動向

■令和6年度国内観光客の状況（令和5年度・平成30年度との比較）

（千人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	593.4	561.5	577.6	692.3	768.8	634.6	694.5	636.8	612.3	566.8	606.4	716.2	7,661.2
令和5年度	603.1	575.3	585.7	663.6	632.2	603.5	672.9	597.1	571.5	508.8	574.4	681.0	7,269.1
増減数	-9.7	-13.8	-8.1	28.7	136.6	31.1	21.6	39.7	40.8	58.0	32.0	35.2	392.1
増減率	-1.6%	-2.4%	-1.4%	4.3%	21.6%	5.2%	3.2%	6.6%	7.1%	11.4%	5.6%	5.2%	5.4%
平成30年度	556.4	514.6	534.6	595.0	741.5	571.0	602.8	604.1	570.3	523.7	532.1	657.4	7,003.5
増減数	37.0	46.9	43.0	97.3	27.3	63.6	91.7	32.7	42.0	43.1	74.3	58.8	657.7
増減率	6.6%	9.1%	8.0%	16.4%	3.7%	11.1%	15.2%	5.4%	7.4%	8.2%	14.0%	8.9%	9.4%

■国内観光客の状況（方面別の月別推移）



【方面別の動向】

東京方面

4月～6月は、航空便の提供座席数の減少に伴い、前年同期比で減少となった。7月以降は台風等の大きな影響もなく、夏休み・年末年始期間中における臨時便・増便・季節運航及び年間を通しての輸送実績が好調に推移したこと等から、前年度を上回り過去最多を記録した。

関西方面

夏休み期間中における増便及び年間を通しての輸送実績が好調に推移したこと等から、前年度を上回り過去最多を記録した。

福岡方面

年間を通しての輸送実績が好調に推移したこと等から、前年度を上回り過去最多を記録した。

名古屋方面

夏休み期間中の増便、年末年始期間中の臨時便・季節運航及び年間を通しての輸送実績が好調に推移したこと等から、前年度を上回り過去最多を記録した。

■国内観光客の概況

令和6年度は、4月～6月期は前年同期比で減少となったが、7月以降は台風等の大きな影響もなく、連休期間中の旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航等の実績が好調に推移したことから、前年度比で増加となった。年度では、これまで最多であった令和5年度を上回り過去最多を記録した。

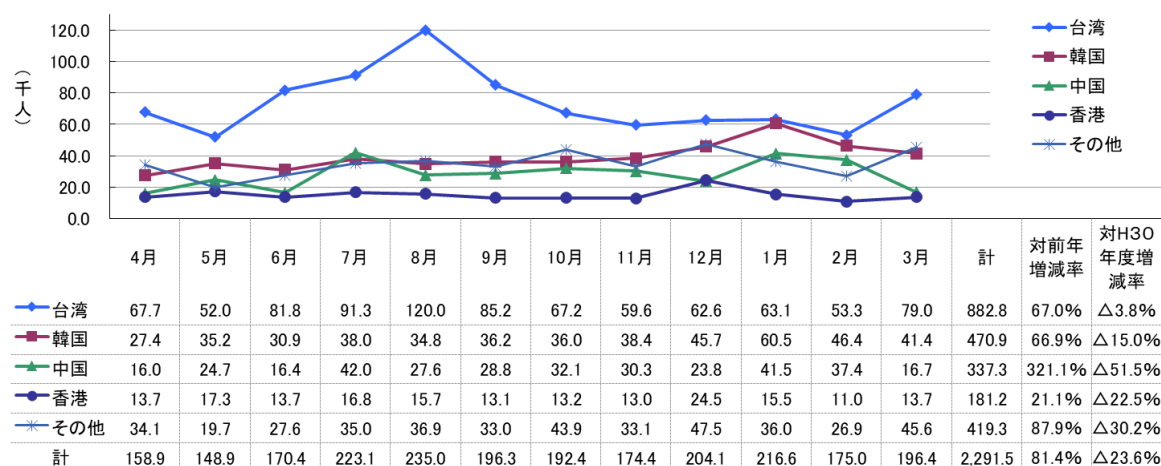
令和7年度は、引き続き各方面からの輸送実績が好調に推移することが見込まれるほか、国内発着のフライ&クルーズが複数回予定されていること等から、堅調に推移すると見込まれる。

外国人観光客についての動向

■令和6年度外国人観光客の状況（令和5年度・平成30年度との比較）

	(千人)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	158.9	148.9	170.4	223.1	235.0	196.3	192.4	174.4	204.1	216.6	175.0	196.4	2,291.5
令和5年度	66.7	69.9	77.7	115.2	96.4	106.6	115.4	91.1	95.2	120.4	144.8	164.1	1,263.5
増減数	92.2	79.0	92.7	107.9	138.6	89.7	77.0	83.3	108.9	96.2	30.2	32.3	1,028.0
増減率	138.2%	113.0%	119.3%	93.7%	143.8%	84.1%	66.7%	91.4%	114.4%	79.9%	20.9%	19.7%	81.4%
平成30年度	276.8	316.3	275.1	290.8	300.0	230.5	246.5	191.1	177.2	229.8	240.1	226.6	3,000.8
増減数	-117.9	-167.4	-104.7	-67.7	-65.0	-34.2	-54.1	-16.7	26.9	-13.2	-65.1	-30.2	-709.3
増減率	-42.6%	-52.9%	-38.1%	-23.3%	-21.7%	-14.8%	-21.9%	-8.7%	15.2%	-5.7%	-27.1%	-13.3%	-23.6%

■外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



【市場別の動向】

台湾 航空路線では、那覇－台北路線の新規就航があったほか、基隆、高雄発のクルーズ船が多数寄港したこと等により、平成30年度の96.2%の水準まで回復した。

韓国 航空路線では、下地島－仁川路線の新規就航や那覇－仁川路線の再開・増便があったこと等により、平成30年度の85.0%の水準まで回復した。

中国本土 航空路線では、那覇－福州路線の新規就航等があったほか、厦門、上海発のクルーズ船が多数寄港したこと等により、平成30年度の48.5%の水準まで回復した。

香港 香港発のクルーズ船が多数寄港したこと等により、平成30年度の77.5%の水準まで回復した。

■外国人観光客の概況

令和6年度は、航空路線の再開・新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等により、前年度比で102万8,000人の増(81.4%増)となった。平成30年度と比べると、航空路線の復便や新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等に伴い段階的に回復しているが、中国本土便など一部航空路線やクルーズ船の運休の影響により76.4%の水準となっている。

令和7年度は、航空路線において那覇-台北/台中/上海/シンガポール/バンコク便の増便(3/30～)をはじめ、新石垣-香港/仁川路線の新規就航(4/3～)、新石垣-台北路線の新規就航(5/28～10/25)があること、大型クルーズ船の寄港も多数予定されていること等からさらなる回復が見込まれる。

令和6年（2024）4月 入域観光客数概況（確定版）

75万2,300人

対前年（R5）同月比 +8万2,500人、+12.3%

～4月としては復帰後4番目、対前年同月比で29ヶ月連続の増加～

※過去最高年度（R元）同月比 ▲9万9,100人、▲11.6%

【更新履歴】①令和6年5月27日速報版公表

②令和6年7月25日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、7月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

※ 国内客算出時における最新版混在率適用の関係で、速報版とは一致しません。

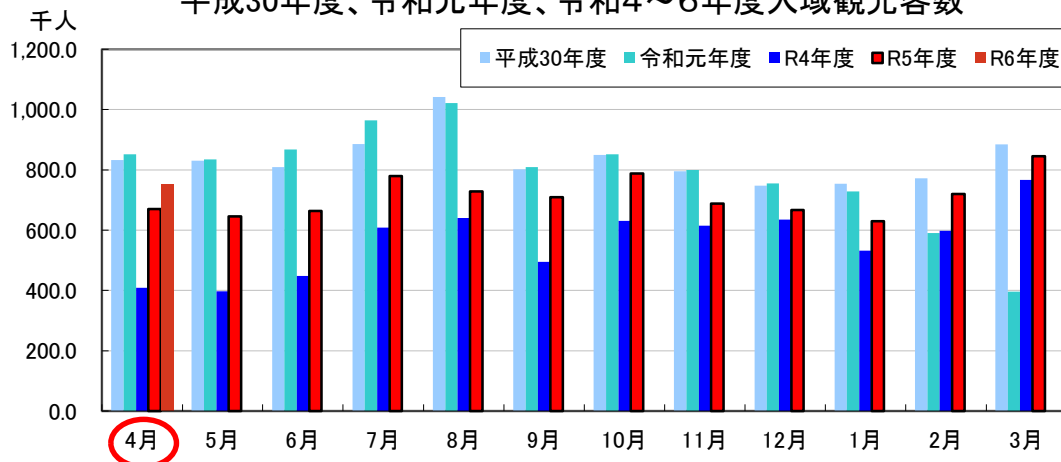
入域状況

入域観光客数（令和5年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	593,400 人	603,100 人	△ 9,700 人	△ 1.6%	78.9%
外国客	158,900 人	66,700 人	+ 92,200 人	+ 138.2%	21.1%
合計	752,300 人	669,800 人	+ 82,500 人	+ 12.3%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等15,700人を含む。

平成30年度、令和元年度、令和4～6年度入域観光客数



国内客 入域状況

4月は、春休み及びゴールデンウィークの旅行需要に対する航空会社の臨時便・季節運航等（東京、関西、名古屋方面）があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により前年同月を下回った。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	286,200 人	294,800 人	△ 8,600 人	△ 2.9%	48.2%
関西方面	127,800 人	130,800 人	△ 3,000 人	△ 2.3%	21.5%
福岡方面	73,300 人	72,300 人	+ 1,000 人	+ 1.4%	12.4%
名古屋	51,000 人	51,200 人	△ 200 人	△ 0.4%	8.6%
その他	55,100 人	54,000 人	+ 1,100 人	+ 2.0%	9.3%
合計	593,400 人	603,100 人	△ 9,700 人	△ 1.6%	100.0%

※国内海路客5,300人含む。

外国客 入域状況

4月は、航空路線において、那覇－釜山便(3/31～)の復便、那覇－バンコク便(4/2～)の新規就航があったこと、海上路線において、台湾、中国本土発着クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年同月を上回った。

5月以降については、下地－仁川便(5/29～)、那覇－台北便(6/15～)の新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等から回復基調が続くものと見込まれる。

トピック

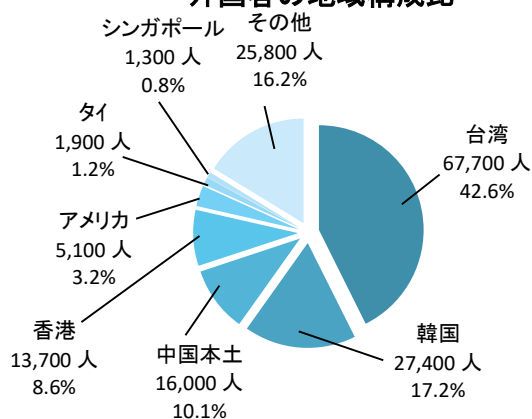
- ▶【台湾】8月中旬寄港予定の「クルーズ乗船型ゴルフツアー」商品が発売され好評となっている。(2日間で沖縄中部と南部のゴルフ場を利用し、1泊は那覇市内のホテルに宿泊する計5日間の商品)
- ▶【台湾】ノルウェー・ジャンスピリットは8月から初の高雄港発→石垣or宮古経由→那覇ルートで運航開始予定
- ▶【韓国】イースター航空が7月19日から沖縄－仁川路線を毎日1回往復運航再開

外国客 国籍別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	67,700 人	27,600 人	+ 40,100 人	+145.3%	42.6%
韓国	27,400 人	18,400 人	+ 9,000 人	+48.9%	17.2%
中国本土	16,000 人	600 人	+ 15,400 人	+2566.7%	10.1%
香港	13,700 人	7,900 人	+ 5,800 人	+73.4%	8.6%
アメリカ	5,100 人	3,000 人	+ 2,100 人	+70.0%	3.2%
タイ	1,900 人	1,800 人	+ 100 人	+5.6%	1.2%
シンガポール	1,300 人	300 人	+ 1,000 人	+333.3%	0.8%
その他	25,800 人	7,100 人	+ 18,700 人	+263.4%	16.2%
合計	158,900 人	66,700 人	+ 92,200 人	+138.2%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等15,700人を含む。

外国客の地域構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	51,900 人	27,600 人	+88.0%	48.3%	15,800 人	0 人	皆増	30.7%
韓国	27,400 人	18,400 人	+48.9%	25.5%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	7,900 人	600 人	+1216.7%	7.3%	8,100 人	0 人	皆増	15.8%
香港	10,800 人	7,900 人	+36.7%	10.0%	2,900 人	0 人	皆増	5.6%
アメリカ	1,800 人	1,500 人	+20.0%	1.7%	3,300 人	1,500 人	120.0%	6.4%
タイ	1,900 人	1,800 人	+5.6%	1.8%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	1,200 人	200 人	+500.0%	1.1%	100 人	100 人	+0.0%	0.2%
その他	4,600 人	2,200 人	+109.1%	4.3%	21,200 人	4,900 人	+332.7%	41.2%
合計	107,500 人	60,200 人	+78.6%	100.0%	51,400 人	6,500 人	+690.8%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等15,700人を含む。

令和6年（2024）5月 入域観光客数概況（確定版）

71万400人

対前年（R5）同月比 +6万5,200人、+10.1%

～5月としては復帰後4番目、対前年同月比で30ヶ月連続の増加～

※過去最高年度（令和元）同月比 ▲12万4,500人、▲14.9%

【更新履歴】①令和6年6月25日速報版公表
②令和6年7月25日速報版公表（国内客算出時における最新版混在率適用で数値に修正あり）
③令和6年8月26日確定版公表
④令和6年9月30日確定版修正公表

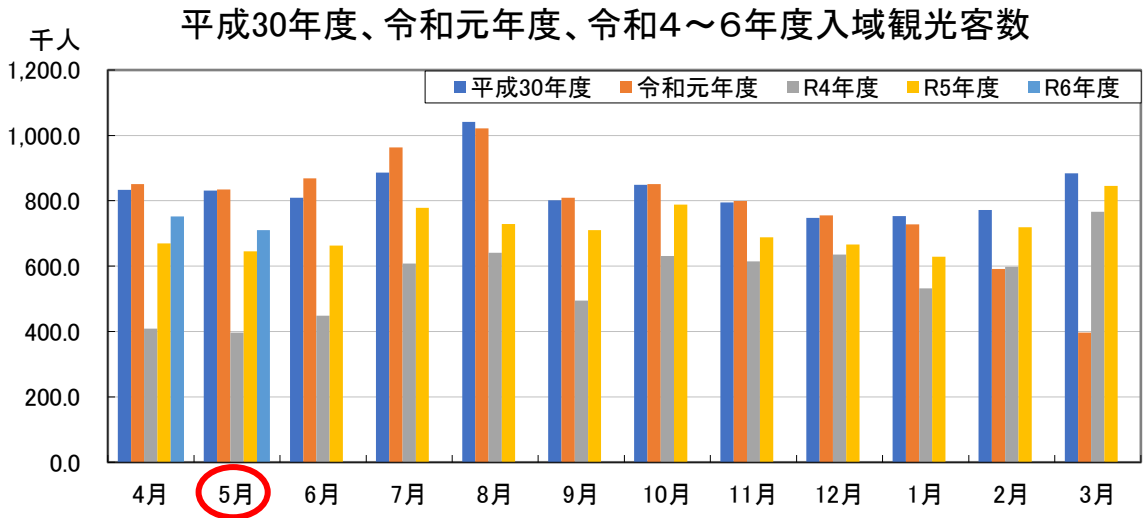
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、8月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（令和5年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	561,500 人	575,300 人	△ 13,800 人	△ 2.4%	79.0%
外国客	148,900 人	69,900 人	+ 79,000 人	+ 113.0%	21.0%
合計	710,400 人	645,200 人	+ 65,200 人	+ 10.1%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等10,600人を含む。



国内客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークの旅行需要に対する航空会社の臨時便・増便・季節運航等（東京、名古屋、関西方面）があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により前年同月を下回った。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	263,400 人	267,100 人	△ 3,700 人	△ 1.4%	46.9%
関西方面	130,500 人	129,200 人	+ 1,300 人	+ 1.0%	23.2%
福岡方面	70,600 人	69,600 人	+ 1,000 人	+ 1.4%	12.6%
名古屋	45,400 人	51,300 人	△ 5,900 人	△ 11.5%	8.1%
その他	51,600 人	58,100 人	△ 6,500 人	△ 11.2%	9.2%
合計	561,500 人	575,300 人	△ 13,800 人	△ 2.4%	100.0%

外国客 入域状況

5月は、航空路線において、下地－仁川便(5/29～)の新規就航があったこと、海上路線において中国本土、香港からのクルーズ乗船客が回復したこと等により前年同月を上回った。
6月以降についても、那覇－台北便(6/15～)の新規就航、那覇－仁川路線(7/19～)の再開、夏休みシーズンに伴うクルーズ船の寄港回数増加等により、回復基調が続くと見込まれる。

- トピック**
- ▶ 第2回沖縄空手少年少女世界大会が8月8日から12日にかけて開催され、予選(1月、2月開催)を含め、29の国と地域から約1500名が参加した。
 - ▶ 【タイ】エアアジアはバンコク－高雄－那覇を結ぶ沖縄方面への経由便の発売を開始し、台湾からの利用も多く好評となっている。
 - ▶ 【韓国】アジアナ航空は那覇－仁川路線を7月1日～8月29日までの期間、週7回から最大週13回まで増便する予定
 - ▶ 【台湾】端午連休中(6/8～10)に運航された那覇－台湾チャーター便は、満席になるほど好調

外国客 国籍別入域状況

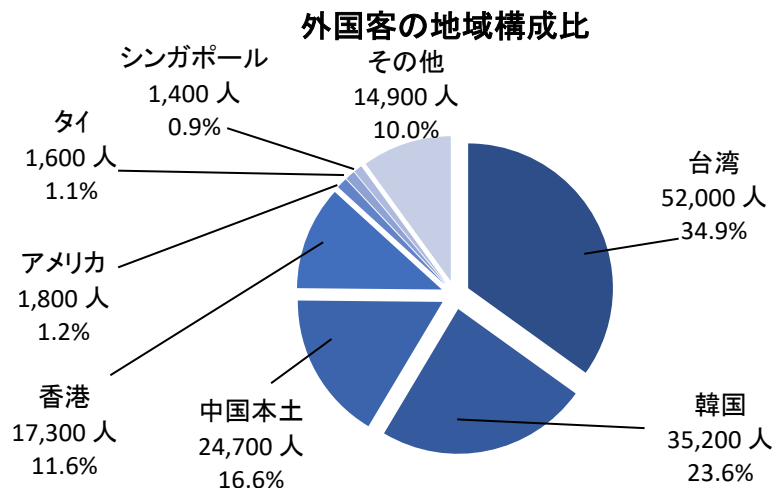
区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	52,000 人	27,300 人	+ 24,700 人	+90.5%	34.9%
韓国	35,200 人	20,200 人	+ 15,000 人	+74.3%	23.6%
中国本土	24,700 人	600 人	+ 24,100 人	+4016.7%	16.6%
香港	17,300 人	10,600 人	+ 6,700 人	+63.2%	11.6%
アメリカ	1,800 人	1,600 人	+ 200 人	+12.5%	1.2%
タイ	1,600 人	1,400 人	+ 200 人	+14.3%	1.1%
シンガポール	1,400 人	200 人	+ 1,200 人	+600.0%	0.9%
その他	14,900 人	8,000 人	+ 6,900 人	+86.3%	10.0%
合計	148,900 人	69,900 人	+ 79,000 人	+113.0%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等10,600人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	51,900 人	27,300 人	+90.1%	46.5%	100 人	0 人	皆増	0.3%
韓国	30,400 人	20,100 人	+51.2%	27.3%	4,800 人	100 人	+4700.0%	12.8%
中国本土	8,600 人	600 人	+1333.3%	7.7%	16,100 人	0 人	皆増	43.0%
香港	12,000 人	10,600 人	+13.2%	10.8%	5,300 人	0 人	皆増	14.2%
アメリカ	1,700 人	1,200 人	+41.7%	1.5%	100 人	400 人	△75.0%	0.3%
タイ	1,600 人	1,400 人	+14.3%	1.4%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	1,400 人	200 人	+600.0%	1.3%	0 人	0 人	—	0.0%
その他	3,900 人	1,900 人	+105.3%	3.5%	11,000 人	6,100 人	+80.3%	29.4%
合計	111,500 人	63,300 人	+76.1%	100.0%	37,400 人	6,600 人	+466.7%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等10,600人を含む。



令和6年（2024）6月
入域観光客数概況（確定版）

74万8,000人

対前年(R5)同月比 +8万4,600人、+12.8%

～6月としては復帰後4番目、対前年同月比で31ヶ月連続の増加～

※過去最高年度(R元)同月比 ▲12万200人、▲13.8%

【更新履歴】①令和6年7月25日速報版公表
②令和6年9月25日確定版公表
③令和6年9月30日確定版修正公表

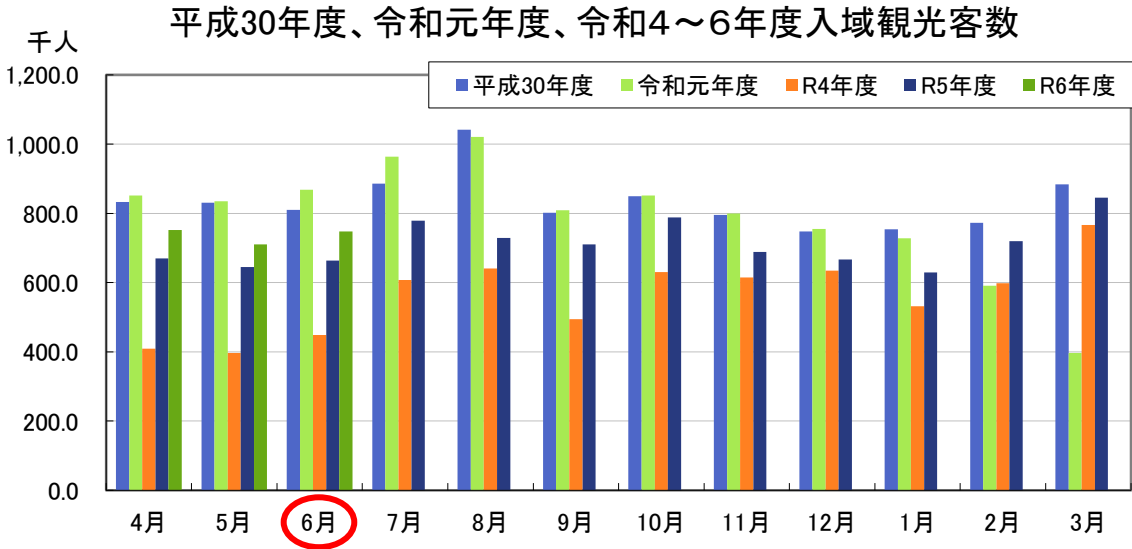
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、9月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数(令和5年度との比較)

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	577,600 人	585,700 人	△ 8,100 人	△ 1.4%	77.2%
空路	572,300 人	577,300 人	△ 5,000 人	△ 0.9%	76.5%
海路	5,300 人	8,400 人	△ 3,100 人	△ 36.9%	0.7%
外国客	170,400 人	77,700 人	+ 92,700 人	+ 119.3%	22.8%
空路	120,900 人	68,100 人	+ 52,800 人	+ 77.5%	16.2%
海路	49,500 人	9,600 人	+ 39,900 人	+ 415.6%	6.6%
合計	748,000 人	663,400 人	+ 84,600 人	+ 12.8%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等14,400人を含む。



国内客 入域状況

6月は、横浜港発着クルーズ船の寄港やデフバレー世界大会等のイベントが開催されたものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により前年同月を下回った。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	278,900 人	282,400 人	△ 3,500 人	△ 1.2%	48.3%
関西方面	128,700 人	128,000 人	+ 700 人	+ 0.5%	22.3%
福岡方面	71,800 人	71,700 人	+ 100 人	+ 0.1%	12.4%
名古屋	47,200 人	52,300 人	△ 5,100 人	△ 9.8%	8.2%
その他	51,000 人	51,300 人	△ 300 人	△ 0.6%	8.8%
合計	577,600 人	585,700 人	△ 8,100 人	△ 1.4%	100.0%

外国客 入域状況

6月は、航空路線において那覇－台北便(6/15～)が新規就航したこと、海上路線において台湾(基隆)・中国(上海)発着のクルーズ船が寄港したことなどにより、好調に推移し、前年同月を上回った。

7月以降についても、那覇－仁川路線(7/19～)の再開や定期便の増便、夏休みシーズンに伴うクルーズ船寄港回数の増加などにより、回復基調が続くと見込まれる。

- トピック ▶【中国本土】厦門航空は、9月10日から沖縄と中国福建省を結ぶ那覇－福州線を週2往復で運航開始。那覇－福州線は9年ぶりの再開となる。
- ▶【台湾】少人数や個人旅行のニーズの高まりを受け、高付加価値市場をターゲットにした、運転手付きの沖縄ミニツアー商品が増えている。

外国客 国籍別入域状況

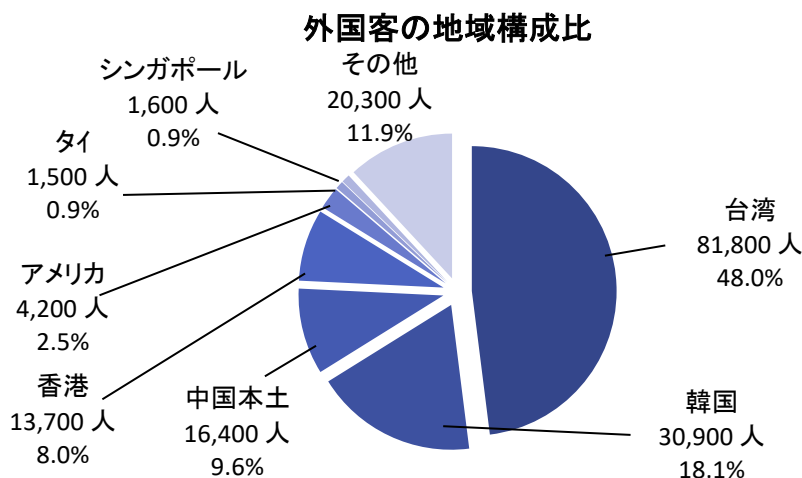
区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	81,800 人	30,300 人	+ 51,500 人	+170.0%	48.0%
韓国	30,900 人	22,600 人	+ 8,300 人	+36.7%	18.1%
中国本土	16,400 人	900 人	+ 15,500 人	+1722.2%	9.6%
香港	13,700 人	13,400 人	+ 300 人	+2.2%	8.0%
アメリカ	4,200 人	2,000 人	+ 2,200 人	+110.0%	2.5%
タイ	1,500 人	400 人	+ 1,100 人	+275.0%	0.9%
シンガポール	1,600 人	400 人	+ 1,200 人	+300.0%	0.9%
その他	20,300 人	7,700 人	+ 12,600 人	+163.6%	11.9%
合計	170,400 人	77,700 人	+ 92,700 人	+119.3%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等14,400人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	56,200 人	30,300 人	+85.5%	46.5%	25,600 人	0 人	皆増	51.7%
韓国	30,500 人	19,800 人	+54.0%	25.2%	400 人	2,800 人	△85.7%	0.8%
中国本土	11,300 人	900 人	+1155.6%	9.3%	5,100 人	0 人	皆増	10.3%
香港	13,600 人	13,400 人	+1.5%	11.2%	100 人	0 人	皆増	0.2%
アメリカ	2,300 人	1,300 人	+76.9%	1.9%	1,900 人	700 人	171.4%	3.8%
タイ	1,500 人	400 人	+275.0%	1.2%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	1,500 人	400 人	+275.0%	1.2%	100 人	0 人	皆増	0.2%
その他	4,000 人	1,600 人	+150.0%	3.3%	16,300 人	6,100 人	+167.2%	32.9%
合計	120,900 人	68,100 人	+77.5%	100.0%	49,500 人	9,600 人	+415.6%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等14,400人を含む



令和6年（2024）7月
入域観光客数概況（確定版）

91万5,400人
対前年（R5）同月比 +13万6,600人、+17.5%
※過去最高年度（R元）同月比 ▲4万8,200人、▲5.0%

【更新履歴】①令和6年8月26日速報版公表
②令和6年10月25日確定版公表

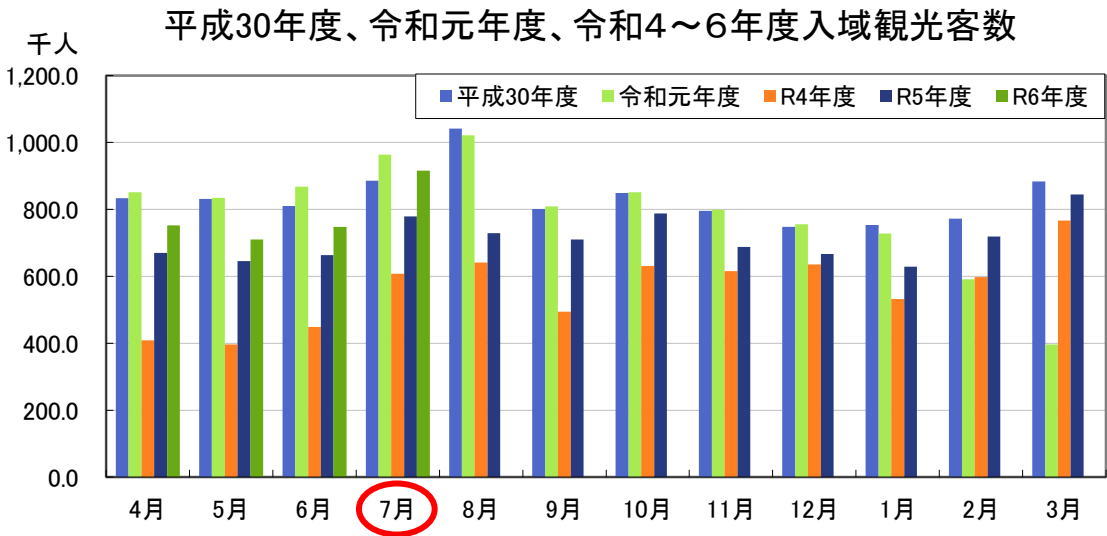
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、10月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（令和5年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	692,300 人	663,600 人	+ 28,700 人	+ 4.3%	75.6%
空路	689,700 人	654,900 人	+ 34,800 人	+ 5.3%	75.3%
海路	2,600 人	8,700 人	△ 6,100 人	△ 70.1%	0.3%
外国客	223,100 人	115,200 人	+ 107,900 人	+ 93.7%	24.4%
空路	134,100 人	80,300 人	+ 53,800 人	+ 67.0%	14.6%
海路	89,000 人	34,900 人	+ 54,100 人	+ 155.0%	9.7%
合計	915,400 人	778,800 人	+ 136,600 人	+ 17.5%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等25,100人を含む。



国内客 入域状況

7月は、先島諸島に接近した台風による航空便の欠航等が発生したものの、航空会社の増便・臨時便・季節運航（東京、関西、名古屋方面）、県内花火大会をはじめとした各種イベントの開催等により、観光客数は前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡方面からの観光客数は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	347,800 人	333,400 人	+ 14,400 人	+ 4.3%	50.2%
関西方面	148,700 人	140,200 人	+ 8,500 人	+ 6.1%	21.5%
福岡方面	81,800 人	74,400 人	+ 7,400 人	+ 9.9%	11.8%
名古屋	56,700 人	59,800 人	△ 3,100 人	△ 5.2%	8.2%
その他	57,300 人	55,800 人	+ 1,500 人	+ 2.7%	8.3%
合計	692,300 人	663,600 人	+ 28,700 人	+ 4.3%	100.0%

外国客 入域状況

7月は、那覇－仁川路線(7月19日～)の再開や定期便の増便、台湾(基隆・高雄)、中国(上海・蛇口)発着のクルーズ船寄港回数の増加等により、旅客数は前年同月を上回り好調に推移した。
8月以降についても、那覇－福州線(9月10日～)の再開や那覇－台北路線の増便(10月27日～)夏休みシーズンに伴うクルーズ船寄港回数の増加等により、回復基調が続くと見込まれる。

- トピック ▶【タイ・台湾】タイ・ベトジェット航空は、11月2日からバンコクー台北経由ー沖縄路線の新規就航を決定し、毎日運航する。
- ▶【台湾】スターラックス航空は、12月2日から那覇－台中路線を新規就航する。既に毎日運航している那覇－台北線と組み合わせた複数都市予約によって旅程を柔軟に組み立てることが可能となった。
- ▶【韓国】アジアナ航空は、秋夕(チュソク)連休期間中(9/14日～18日)の旅行需要増加に対応するため、仁川発沖縄行きの不定期便(8便)を追加運航した。

外国客 国籍別入域状況

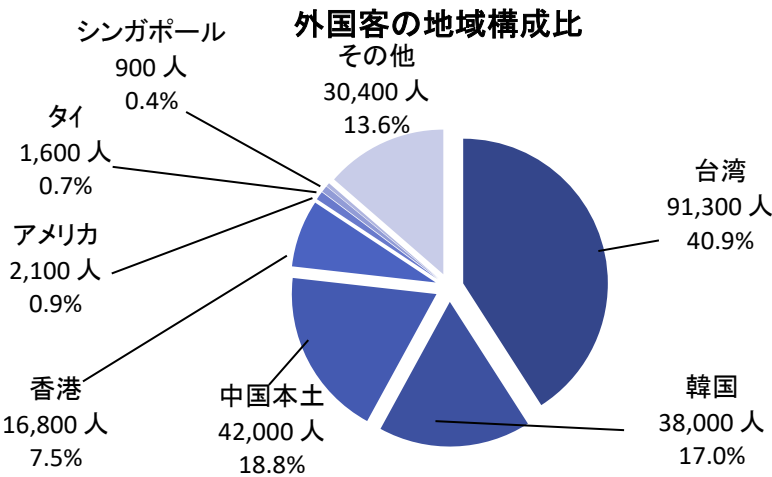
区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	91,300 人	55,100 人	+ 36,200 人	+65.7%	40.9%
韓国	38,000 人	25,700 人	+ 12,300 人	+47.9%	17.0%
中国本土	42,000 人	4,900 人	+ 37,100 人	+757.1%	18.8%
香港	16,800 人	14,500 人	+ 2,300 人	+15.9%	7.5%
アメリカ	2,100 人	1,400 人	+ 700 人	+50.0%	0.9%
タイ	1,600 人	100 人	+ 1,500 人	+1500.0%	0.7%
シンガポール	900 人	100 人	+ 800 人	+800.0%	0.4%
その他	30,400 人	13,400 人	+ 17,000 人	+126.9%	13.6%
合計	223,100 人	115,200 人	+ 107,900 人	+93.7%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等25,100人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	59,100 人	31,100 人	+90.0%	44.1%	32,200 人	24,000 人	+34.2%	36.2%
韓国	38,000 人	25,600 人	+48.4%	28.3%	0 人	100 人	皆減	0.0%
中国本土	12,200 人	4,900 人	+149.0%	9.1%	29,800 人	0 人	皆増	33.5%
香港	15,700 人	14,500 人	+8.3%	11.7%	1,100 人	0 人	皆増	1.2%
アメリカ	1,900 人	1,300 人	+46.2%	1.4%	200 人	100 人	100.0%	0.2%
タイ	1,600 人	100 人	+1500.0%	1.2%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	900 人	100 人	+800.0%	0.7%	0 人	0 人	—	0.0%
その他	4,700 人	2,700 人	+74.1%	3.5%	25,700 人	10,700 人	+140.2%	28.9%
合計	134,100 人	80,300 人	+67.0%	100.0%	89,000 人	34,900 人	+155.0%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等25,100人を含む。



令和6年（2024）8月
入域観光客数概況（確定版）

100万3,800人
対前年(R5)同月比 +27万5,200人、+37.8%
※過去最高年度(H30)同月比 ▲3万7,700人、▲3.6%

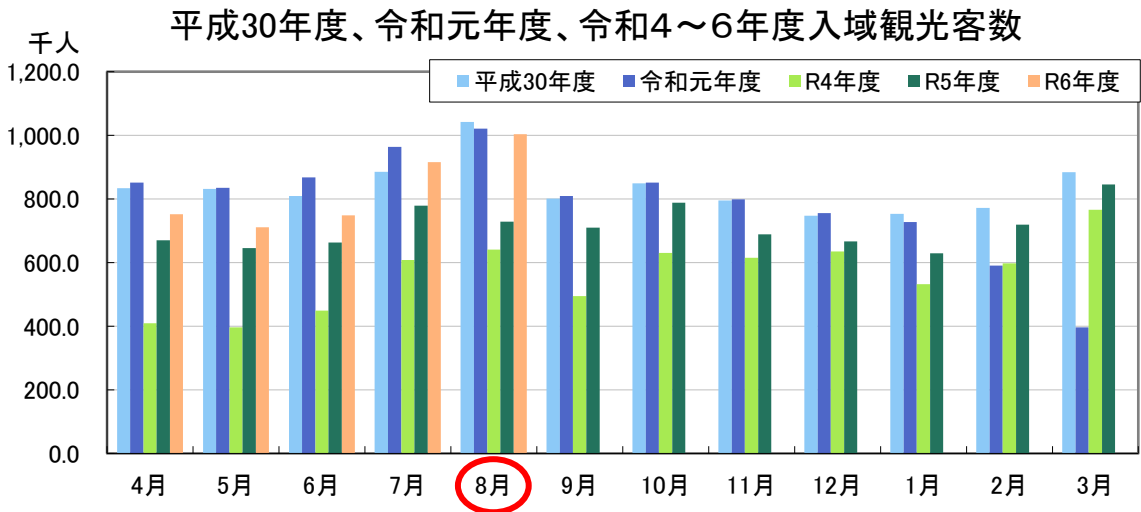
【更新履歴】①令和6年9月25日速報版公表
②令和6年11月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、11月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数(令和5年度との比較)

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	768,800 人	632,200 人	+ 136,600 人	+ 21.6%	76.6%
空路	766,100 人	628,700 人	+ 137,400 人	+ 21.9%	76.3%
海路	2,700 人	3,500 人	△ 800 人	△ 22.9%	0.3%
外国客	235,000 人	96,400 人	+ 138,600 人	+ 143.8%	23.4%
空路	134,300 人	71,600 人	+ 62,700 人	+ 87.6%	13.4%
海路	100,700 人	24,800 人	+ 75,900 人	+ 306.0%	10.0%
合計	1,003,800 人	728,600 人	+ 275,200 人	+ 37.8%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等27,500人を含む。



国内客 入域状況

8月は、台風による航空便の欠航等が発生したものの、前年同月に襲来した台風6号のような大きな影響は見られず、夏休み期間中の旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航(東京、関西、名古屋方面)等により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	373,800 人	313,200 人	+ 60,600 人	+ 19.3%	48.6%
関西方面	168,700 人	136,000 人	+ 32,700 人	+ 24.0%	21.9%
福岡方面	94,600 人	74,800 人	+ 19,800 人	+ 26.5%	12.3%
名古屋	67,400 人	58,300 人	+ 9,100 人	+ 15.6%	8.8%
その他	64,300 人	49,900 人	+ 14,400 人	+ 28.9%	8.4%
合計	768,800 人	632,200 人	+ 136,600 人	+ 21.6%	100.0%

外国客 入域状況

8月は、夏休みシーズンに伴う航空路線の増便やクルーズ船寄港回数の増加などにより、旅客数は前年同月を上回り好調に推移した。

9月以降については、那覇－福州路線(9月10日～)の再開、バンコク－台北経由－沖縄路線(11月2日～)及び那覇－台中路線(12月2日～)の新規就航が予定されていることなどから、堅調に推移すると見込まれる。

- トピック ▶【韓国】イースター航空は、12月19日より那覇－釜山路線を新規就航する予定
- ▶【香港】香港エクスプレスは、11月1日より1日2便の運航を開始する。
- ▶【シンガポール】ジェットスターは、11月1日より週3便から週4便に増便する。

外国客 国籍別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	120,000 人	48,500 人	+ 71,500 人	+147.4%	51.1%
韓国	34,800 人	20,200 人	+ 14,600 人	+72.3%	14.8%
中国本土	27,600 人	5,800 人	+ 21,800 人	+375.9%	11.7%
香港	15,700 人	12,000 人	+ 3,700 人	+30.8%	6.7%
アメリカ	2,100 人	1,100 人	+ 1,000 人	+90.9%	0.9%
タイ	1,100 人	100 人	+ 1,000 人	+1000.0%	0.5%
シンガポール	900 人	100 人	+ 800 人	+800.0%	0.4%
その他	32,800 人	8,600 人	+ 24,200 人	+281.4%	14.0%
合計	235,000 人	96,400 人	+ 138,600 人	+143.8%	100.0%

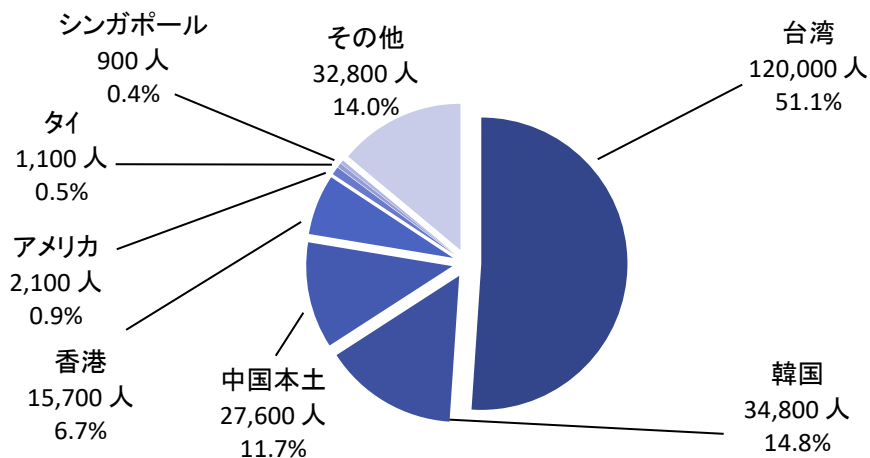
※「その他」には、海路における乗務員等27,500人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	62,100 人	30,900 人	+101.0%	46.2%	57,900 人	17,600 人	+229.0%	57.5%
韓国	34,800 人	20,200 人	+72.3%	25.9%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	13,900 人	4,800 人	+189.6%	10.3%	13,700 人	1,000 人	+1270.0%	13.6%
香港	15,500 人	12,000 人	+29.2%	11.5%	200 人	0 人	皆増	0.2%
アメリカ	1,900 人	1,100 人	+72.7%	1.4%	200 人	0 人	皆増	0.2%
タイ	1,000 人	100 人	+900.0%	0.7%	100 人	0 人	皆増	0.1%
シンガポール	800 人	100 人	+700.0%	0.6%	100 人	0 人	皆増	0.1%
その他	4,300 人	2,400 人	+79.2%	3.2%	28,500 人	6,200 人	+359.7%	28.3%
合計	134,300 人	71,600 人	+87.6%	100.0%	100,700 人	24,800 人	+306.0%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等27,500人を含む。

外国客の地域構成比



令和6年（2024）9月
入域観光客数概況（確定版）

83万900人
対前年（R5）同月比　＋12万800人、＋17.0%
※過去最高年度月比（H29）▲6,200人　▲0.7%

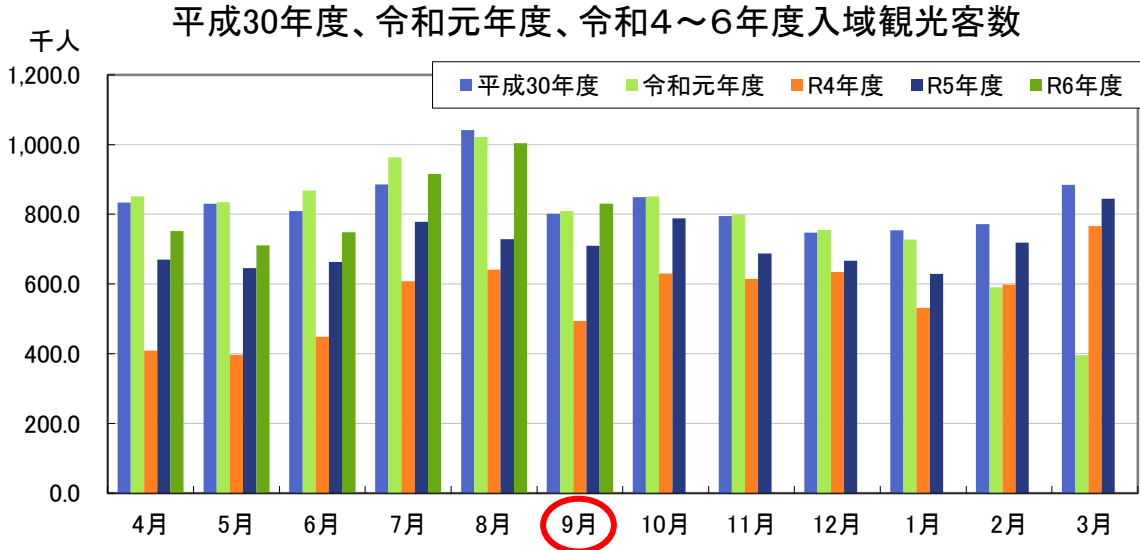
【更新履歴】①令和6年10月25日速報版公表
②令和6年12月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、12月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（令和5年度、過去最高年度※H29との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H29年度
国内客	634,600 人	603,500 人	＋ 31,100 人	＋ 5.2%	76.4%	603,600人
空路	633,000 人	599,700 人	＋ 33,300 人	＋ 5.6%	76.2%	601,300人
海路	1,600 人	3,800 人	△ 2,200 人	△ 57.9%	0.2%	2,300人
外国客	196,300 人	106,600 人	＋ 89,700 人	＋ 84.1%	23.6%	233,500人
空路	125,400 人	79,600 人	＋ 45,800 人	＋ 57.5%	15.1%	146,200人
海路	70,900 人	27,000 人	＋ 43,900 人	＋ 162.6%	8.5%	87,300人
合計	830,900 人	710,100 人	＋ 120,800 人	＋ 17.0%	100.0%	837,100人

※外国客には、海路における乗務員等21,300人を含む。



国内客 入域状況

9月は、一部路線において台風による航空便の欠航等が発生したものの、2度の3連休を中心に航空便の輸送実績は堅調であったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西方面からの観光客数は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H29年度
東京方面	324,400 人	305,500 人	＋ 18,900 人	＋ 6.2%	51.1%	302,900人
関西方面	132,700 人	126,300 人	＋ 6,400 人	＋ 5.1%	20.9%	123,300人
福岡方面	75,200 人	72,000 人	＋ 3,200 人	＋ 4.4%	11.8%	75,700人
名古屋	49,900 人	50,400 人	△ 500 人	△ 1.0%	7.9%	49,200人
その他	52,400 人	49,300 人	＋ 3,100 人	＋ 6.3%	8.3%	52,500人
合計	634,600 人	603,500 人	＋ 31,100 人	＋ 5.2%	100.0%	603,600人

外国客 入域状況

9月は、航空路線において那覇－福州路線の再開があったこと、台湾・韓国路線の輸送実績が順調であったことなどから前年同月を上回った。特に、台湾からの入域客数は過去最多となった。(※H29年度比△37,200人 △15.9%)
10月以降については、バンコク－台北経由－沖縄路線(11月2日～)及び那覇－台中路線(12月2日～)の新規就航があること、台湾・中国本土・香港発着クルーズの寄港が多数あることなどから好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶ 【タイ】タイ・ライオンエアは、1月21日より那覇－タイ(ドンムアン)路線を新規就航する。

外国客 国籍別入域状況

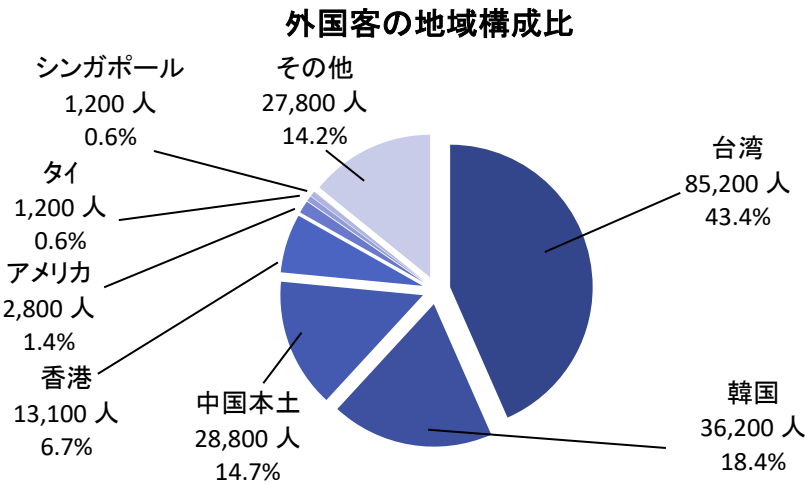
区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H29年度
台湾	85,200 人	56,600 人	+ 28,600 人	+50.5%	43.4%	67,800人
韓国	36,200 人	21,500 人	+ 14,700 人	+68.4%	18.4%	43,200人
中国本土	28,800 人	6,300 人	+ 22,500 人	+357.1%	14.7%	49,900人
香港	13,100 人	10,000 人	+ 3,100 人	+31.0%	6.7%	25,400人
アメリカ	2,800 人	1,500 人	+ 1,300 人	+86.7%	1.4%	2,000人
タイ	1,200 人	100 人	+ 1,100 人	+1100.0%	0.6%	2,800人
シンガポール	1,200 人	200 人	+ 1,000 人	+500.0%	0.6%	1,100人
その他	27,800 人	10,400 人	+ 17,400 人	+167.3%	14.2%	41,300人
合計	196,300 人	106,600 人	+ 89,700 人	+84.1%	100.0%	233,500人

※「その他」には、海路における乗務員等21,300人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	57,700 人	38,500 人	+49.9%	46.0%	27,500 人	18,100 人	+51.9%	38.8%
韓国	36,000 人	21,500 人	+67.4%	28.7%	200 人	0 人	皆増	0.3%
中国本土	10,900 人	5,600 人	+94.6%	8.7%	17,900 人	700 人	+2457.1%	25.2%
香港	12,300 人	10,000 人	+23.0%	9.8%	800 人	0 人	皆増	1.1%
アメリカ	1,700 人	1,200 人	+41.7%	1.4%	1,100 人	300 人	266.7%	1.6%
タイ	1,100 人	100 人	+1000.0%	0.9%	100 人	0 人	皆増	0.1%
シンガポール	1,000 人	200 人	+400.0%	0.8%	200 人	0 人	皆増	0.3%
その他	4,700 人	2,500 人	+88.0%	3.7%	23,100 人	7,900 人	+192.4%	32.6%
合計	125,400 人	79,600 人	+57.5%	100.0%	70,900 人	27,000 人	+162.6%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等21,300人を含む。



令和 6 年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
令和 6 年12月確定値発表(10月の速報値修正)

令和 6 年度上半期 496万800人

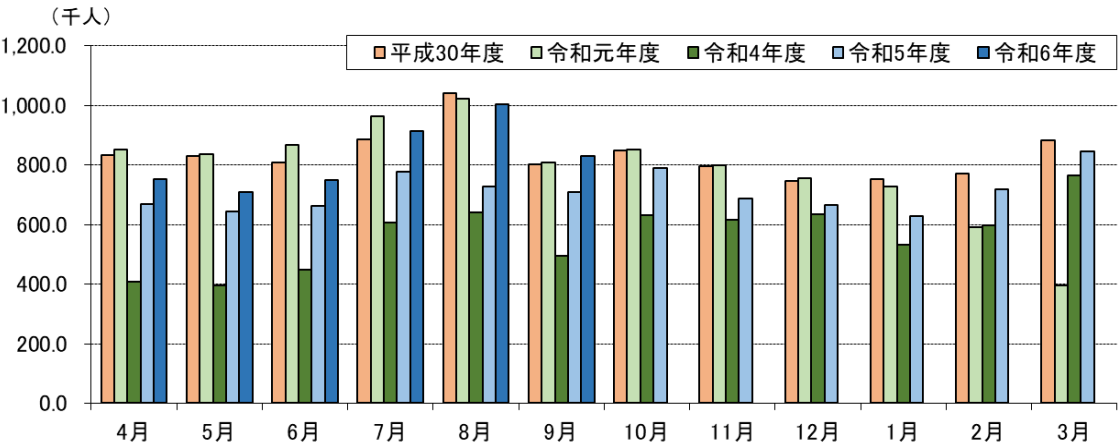
対前年度(R 5)比 + 76万4,900人 + 18.2%

同期比では過去 4 番目、4 年連続の増加

令和元年度同期比 ▲ 38万7,800人 ▲ 7.3%

入域観光客数（国内 + 外国）

■月別入域観光客数の推移（平成30年度、令和元年度、令和 4 ～ 6 年度）



■令和 6 年度上半期入域観光客の状況（令和 5 年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	752,300	710,400	748,000	915,400	1,003,800	830,900	4,960,800
令和5年度	669,800	645,200	663,400	778,800	728,600	710,100	4,195,900
増減数	82,500	65,200	84,600	136,600	275,200	120,800	764,900
増減率	12.3%	10.1%	12.8%	17.5%	37.8%	17.0%	18.2%
令和元年度	851,400	834,900	868,200	963,600	1,021,200	809,300	5,348,600
増減数	-99,100	-124,500	-120,200	-48,200	-17,400	21,600	-387,800
増減率	-11.6%	-14.9%	-13.8%	-5.0%	-1.7%	2.7%	-7.3%

■令和 6 年度上半期の概況（総括）

令和 6 年度上半期の入域観光客数は、496万800人と、前年度同期比18.2%増（76万4,900人増）で4年連続の増加となった。令和元年度上半期と比較すると7.3%減となっている。

国内観光客数は、コロナ禍前の水準を上回り、過去最高を記録した。

外国人観光客数は、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航の進展により段階的に回復しつつあることから、下半期においても回復傾向が続くものと見込まれる。

国内観光客についての動向

■令和6年度上半期国内観光客の状況（令和5年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	593,400	561,500	577,600	692,300	768,800	634,600	3,828,200
令和5年度	603,100	575,300	585,700	663,600	632,200	603,500	3,663,400
増減数	-9,700	-13,800	-8,100	28,700	136,600	31,100	164,800
増減率	-1.6%	-2.4%	-1.4%	4.3%	21.6%	5.2%	4.5%
令和元年度	601,100	566,500	569,800	660,800	738,300	590,600	3,727,100
増減数	-7,700	-5,000	7,800	31,500	30,500	44,000	101,100
増減率	-1.3%	-0.9%	1.4%	4.8%	4.1%	7.5%	2.7%

■国内観光客の概況

令和6年度上半期において、4月～6月期は全国旅行支援の反動減等の影響により、前年度同期比で減少した。一方、7月～9月期は夏休み期間中の旅行需要を見込んだ航空会社の臨時便・増便・季節運航等が好調に推移したことから前年度同期比で増加した。

また、6月～9月期は令和元年度同期比でも増加し、コロナ禍前の水準を上回っている。

外国人観光客についての動向

■令和6年度上半期外国人観光客の状況（令和5年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	158,900	148,900	170,400	223,100	235,000	196,300	1,132,600
令和5年度	66,700	69,900	77,700	115,200	96,400	106,600	532,500
増減数	92,200	79,000	92,700	107,900	138,600	89,700	600,100
増減率	138.2%	113.0%	119.3%	93.7%	143.8%	84.1%	112.7%
令和元年度	250,300	268,400	298,400	302,800	282,900	218,700	1,621,500
増減数	-91,400	-119,500	-128,000	-79,700	-47,900	-22,400	-488,900
増減率	-36.5%	-44.5%	-42.9%	-26.3%	-16.9%	-10.2%	-30.2%

■外国人観光客の概況

令和6年度上半期は、航空路線の再開・新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等により、前年度同期比で60万100人の増となった。

一方、令和元年度上半期と比べると、中国本土便など一部航空路線の運休継続の影響により69.8%の水準にとどまっている。しかし、航空路線の復便やクルーズ船寄港回数の増加等に伴い、段階的に回復している。

下半期は、那覇 - 台北路線の増便、バンコク - 台北経由 - 沖縄路線及び那覇 - 台中路線の新規就航、大型クルーズ船（台湾、中国本土発着）の多数寄港予定などにより、更なる回復が見込まれる。

令和6年(2024)10月 入域観光客数概況(確定版)

88万6,900人
対前年(R5)同月比 +9万8,600人、+12.5%
～10月としては過去最高～

【更新履歴】①令和6年11月25日速報版公表

②令和7年1月27日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、1月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

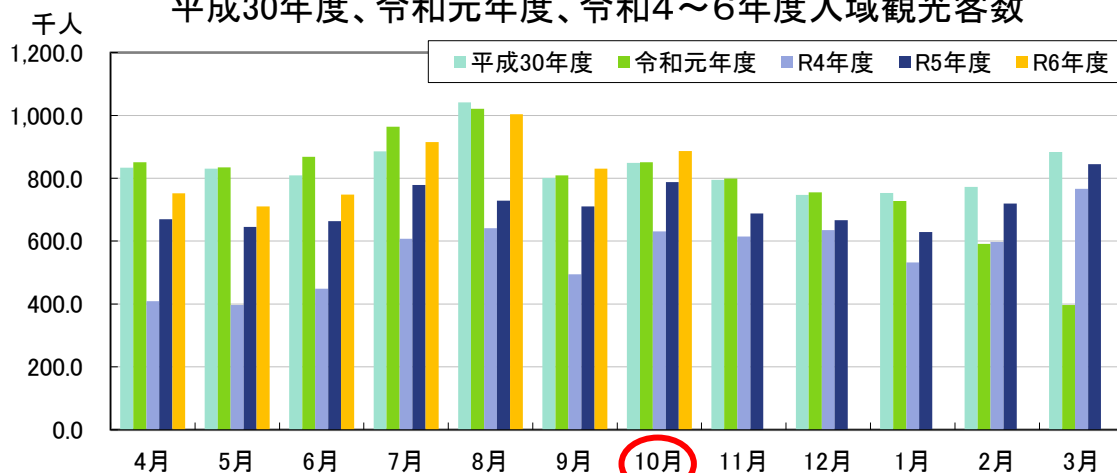
入域状況

入域観光客数(令和5年度との比較)

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	694,500 人	672,900 人	+ 21,600 人	+ 3.2%	78.3%
空路	688,600 人	667,600 人	+ 21,000 人	+ 3.1%	77.6%
海路	5,900 人	5,300 人	+ 600 人	+ 11.3%	0.7%
外国客	192,400 人	115,400 人	+ 77,000 人	+ 66.7%	21.7%
空路	123,800 人	78,900 人	+ 44,900 人	+ 56.9%	14.0%
海路	68,600 人	36,500 人	+ 32,100 人	+ 87.9%	7.7%
合計	886,900 人	788,300 人	+ 98,600 人	+ 12.5%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等21,500人を含む。

平成30年度、令和元年度、令和4～6年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、修学旅行シーズンを迎えるとともに、那覇大綱挽祭り(10/12～14)等の県内イベントの開催、航空便の輸送実績が全体的に好調であったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡方面からの観光客数は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	347,500 人	332,100 人	+ 15,400 人	+ 4.6%	50.0%
関西方面	143,200 人	137,800 人	+ 5,400 人	+ 3.9%	20.6%
福岡方面	87,700 人	83,900 人	+ 3,800 人	+ 4.5%	12.6%
名古屋	54,700 人	58,000 人	△ 3,300 人	△ 5.7%	7.9%
その他	61,400 人	61,100 人	+ 300 人	+ 0.5%	8.8%
合計	694,500 人	672,900 人	+ 21,600 人	+ 3.2%	100.0%

外国客 入域状況

10月は、航空路線において那覇－台北路線の増便があったこと、台湾・韓国路線の輸送実績が順調であったことなどから、前年同月を上回った。

11月以降については、那覇－台中路線(12月2日～)、那覇－釜山路線(12月19日～)、那覇－高雄経由－タイ(ドンムアン)路線(1月21日～)の新規就航があるほか、中国本土・香港発着の大型クルーズ船の寄港も多数予定されていることなどから好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【台湾】チャイナエアラインは、1月1日から那覇－台北路線の夜便を週4便に増便、那覇－高雄路線については週3往復で再開する。また、タイガーエアは、1月16日～2月13日まで那覇－高雄路線の臨時便を運航する。

外国客 国籍別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	67,200 人	44,000 人	+ 23,200 人	+52.7%	34.9%
韓国	36,000 人	23,900 人	+ 12,100 人	+50.6%	18.7%
中国本土	32,100 人	4,600 人	+ 27,500 人	+597.8%	16.7%
香港	13,200 人	13,600 人	△ 400 人	△2.9%	6.9%
アメリカ	7,900 人	6,100 人	+ 1,800 人	+29.5%	4.1%
タイ	1,900 人	300 人	+ 1,600 人	+533.3%	1.0%
シンガポール	1,800 人	1,200 人	+ 600 人	+50.0%	0.9%
その他	32,300 人	21,700 人	+ 10,600 人	+48.8%	16.8%
合計	192,400 人	115,400 人	+ 77,000 人	+66.7%	100.0%

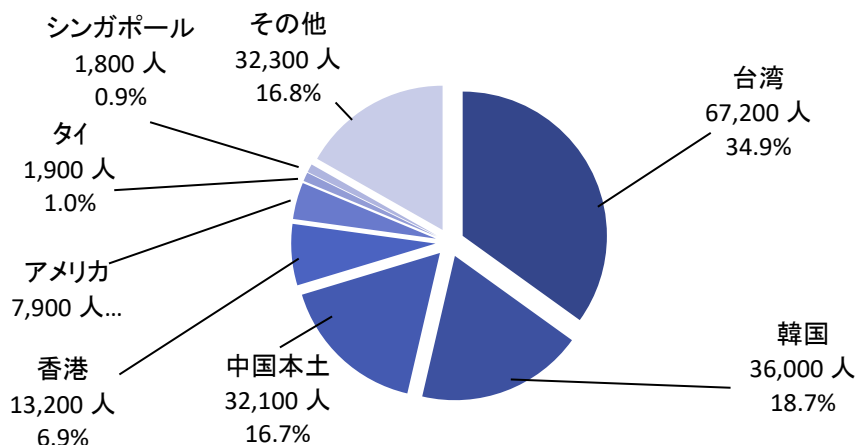
※「その他」には、海路における乗務員等21,500人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	54,800 人	37,100 人	+47.7%	44.3%	12,400 人	6,900 人	+79.7%	18.1%
韓国	35,700 人	21,400 人	+66.8%	28.8%	300 人	2,500 人	△88.0%	0.4%
中国本土	9,400 人	3,700 人	+154.1%	7.6%	22,700 人	900 人	+2422.2%	33.1%
香港	11,900 人	11,100 人	+7.2%	9.6%	1,300 人	2,500 人	△48.0%	1.9%
アメリカ	2,300 人	1,500 人	+53.3%	1.9%	5,600 人	4,600 人	21.7%	8.2%
タイ	1,800 人	200 人	+800.0%	1.5%	100 人	100 人	0.0%	0.1%
シンガポール	1,700 人	300 人	+466.7%	1.4%	100 人	900 人	△88.9%	0.1%
その他	6,200 人	3,600 人	+72.2%	5.0%	26,100 人	18,100 人	+44.2%	38.0%
合計	123,800 人	78,900 人	+56.9%	100.0%	68,600 人	36,500 人	+87.9%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等21,500人を含む

外国客の地域構成比



令和6年（2024）11月
入域観光客数概況（確定版）

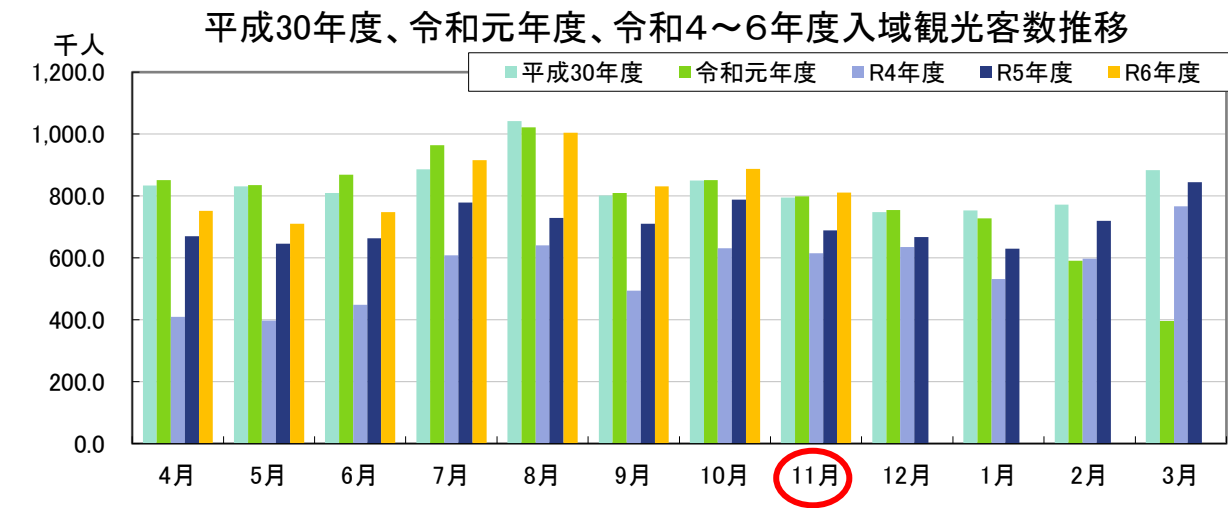
81万1,200人
対前年（R5）同月比　＋12万3,000人、＋17.9%
～11月としては過去最高～

【更新履歴】①令和6年12月25日速報版公表
②令和7年2月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、2月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（令和5年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	636,800 人	597,100 人	＋ 39,700 人	＋ 6.6%	78.5%
空路	632,400 人	595,400 人	＋ 37,000 人	＋ 6.2%	78.0%
海路	4,400 人	1,700 人	＋ 2,700 人	＋ 158.8%	0.5%
外国人客	174,400 人	91,100 人	＋ 83,300 人	＋ 91.4%	21.5%
空路	118,000 人	77,500 人	＋ 40,500 人	＋ 52.3%	14.5%
海路	56,400 人	13,600 人	＋ 42,800 人	＋ 314.7%	7.0%
合計	811,200 人	688,200 人	＋ 123,000 人	＋ 17.9%	100.0%



国内客 入域状況

11月は、修学旅行最盛期であること、航空便の輸送実績が全体的に好調であったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客数は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R 6 年度	R 5 年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	310,000 人	293,000 人	＋ 17,000 人	＋ 5.8%	48.7%
関西方面	131,500 人	124,100 人	＋ 7,400 人	＋ 6.0%	20.7%
福岡方面	81,300 人	79,500 人	＋ 1,800 人	＋ 2.3%	12.8%
名古屋	55,100 人	47,100 人	＋ 8,000 人	＋ 17.0%	8.7%
その他	58,900 人	53,400 人	＋ 5,500 人	＋ 10.3%	9.2%
合計	636,800 人	597,100 人	＋ 39,700 人	＋ 6.6%	100.0%

外国客 入域状況

11月は、航空路線において那覇－台北経由－バンコク路線の新規就航があったこと、台湾・韓国路線の輸送実績が順調であったことなどから、前年同月を上回った。

12月以降については、那覇－高雄経由－タイ（ドンムアン）路線（1月21日～）の新規就航に加え、年末年始及び春節期間中の旅行需要が期待できることなどから、好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【中国本土】東方航空は1月1日～3月29日までの期間中、週7往復だった便を週10往復に増便予定

外国客 国籍別入域状況

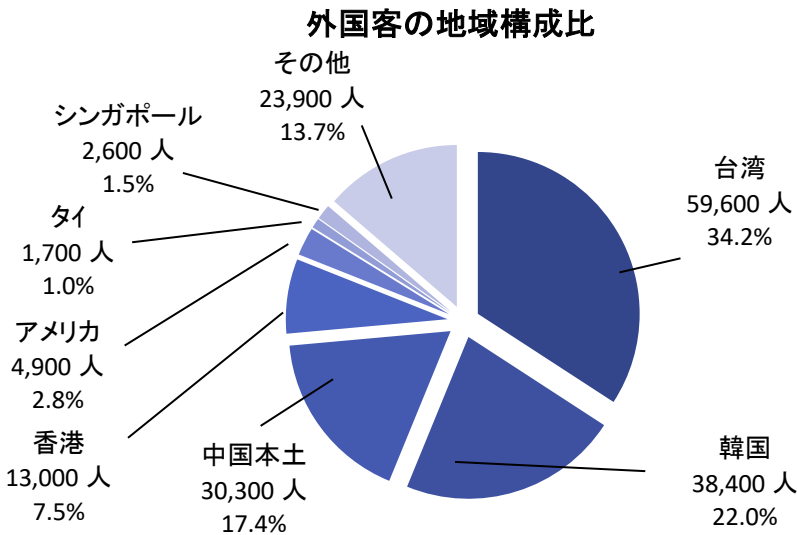
区分	R 6 年度	R 5 年度	増減数	増減率	構成比
台湾	59,600 人	34,300 人	＋ 25,300 人	＋73.8%	34.2%
韓国	38,400 人	24,400 人	＋ 14,000 人	＋57.4%	22.0%
中国本土	30,300 人	6,400 人	＋ 23,900 人	＋373.4%	17.4%
香港	13,000 人	10,800 人	＋ 2,200 人	＋20.4%	7.5%
アメリカ	4,900 人	3,800 人	＋ 1,100 人	＋28.9%	2.8%
タイ	1,700 人	300 人	＋ 1,400 人	＋466.7%	1.0%
シンガポール	2,600 人	800 人	＋ 1,800 人	＋225.0%	1.5%
その他	23,900 人	10,300 人	＋ 13,600 人	＋132.0%	13.7%
合計	174,400 人	91,100 人	＋ 83,300 人	＋91.4%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等15,500人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R 6 年度	R 5 年度	増減率	構成比	R 6 年度	R 5 年度	増減率	構成比
台湾	49,400 人	34,300 人	＋44.0%	41.9%	10,200 人	0 人	皆増	18.1%
韓国	38,100 人	24,400 人	＋56.1%	32.3%	300 人	0 人	皆増	0.5%
中国本土	6,500 人	2,200 人	＋195.5%	5.5%	23,800 人	4,200 人	＋466.7%	42.2%
香港	12,600 人	10,700 人	＋17.8%	10.7%	400 人	100 人	＋300.0%	0.7%
アメリカ	2,300 人	1,600 人	＋43.8%	1.9%	2,600 人	2,200 人	18.2%	4.6%
タイ	1,500 人	300 人	＋400.0%	1.3%	200 人	0 人	皆増	0.4%
シンガポール	2,400 人	800 人	＋200.0%	2.0%	200 人	0 人	皆増	0.4%
その他	5,200 人	3,200 人	＋62.5%	4.4%	18,700 人	7,100 人	＋163.4%	33.2%
合計	118,000 人	77,500 人	＋52.3%	100.0%	56,400 人	13,600 人	＋314.7%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等15,500人を含む。



令和6年（2024）12月 入域観光客数概況（確定版）

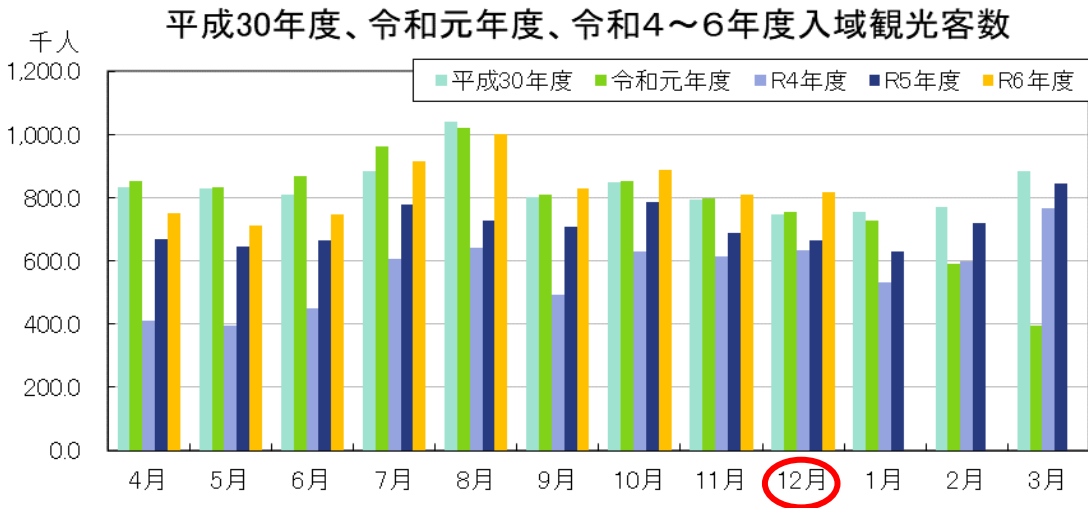
81万6,400人
対前年（R5）同月比 +14万9,700人、+22.5%
～12月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年1月27日速報版公表
②令和7年3月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、3月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（令和5年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	612,300 人	571,500 人	+ 40,800 人	+ 7.1%	75.0%
空路	610,500 人	566,500 人	+ 44,000 人	+ 7.8%	74.8%
海路	1,800 人	5,000 人	△ 3,200 人	△ 64.0%	0.2%
外国人客	204,100 人	95,200 人	+ 108,900 人	+ 114.4%	25.0%
空路	130,900 人	89,000 人	+ 41,900 人	+ 47.1%	16.0%
海路	73,200 人	6,200 人	+ 67,000 人	+ 1080.6%	9.0%
合計	816,400 人	666,700 人	+ 149,700 人	+ 22.5%	100.0%



国内客 入域状況

12月は、先月に引き続き修学旅行のシーズンであったことや航空便の輸送実績が全体的に好調であったこと等から前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡方面からの観光客数は単月として過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	298,400 人	282,500 人	+ 15,900 人	+ 5.6%	48.7%
関西方面	125,000 人	116,200 人	+ 8,800 人	+ 7.6%	20.4%
福岡方面	79,200 人	75,200 人	+ 4,000 人	+ 5.3%	12.9%
名古屋	51,500 人	46,100 人	+ 5,400 人	+ 11.7%	8.4%
その他	58,200 人	51,500 人	+ 6,700 人	+ 13.0%	9.5%
合計	612,300 人	571,500 人	+ 40,800 人	+ 7.1%	100.0%

外国客 入域状況

12月は、航空路線において那覇－台中路線(12月2日～)、那覇－釜山路線(12月19日～)の新規就航があったこと、年末の旅行需要の高まりから輸送実績が全体的に好調であったこと等から前年同月を上回った。特に、台湾、香港は単月として過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。
1月以降については、春節期間中の旅行需要が期待できるほか、台湾・中国本土・香港発着クルーズ船の寄港が複数回予定されていること等から好調に推移すると見込まれる。

- トピック ▶【韓国】ジンエアーは石垣－仁川路線(4月3日～)を新規就航予定
- ▶【香港】香港エクスプレスは石垣－香港路線(4月3日～)のデ일리ー運航を再開予定
- ▶【シンガポール】ジェットスターアジアは那覇－シンガポール路線(4月1日～)を週4便から週6便に増便予定
- ▶【台湾】スターラックス航空は那覇－台中路線(3月30日～)を週4便から週6便に増便予定

外国客 国籍別入域状況

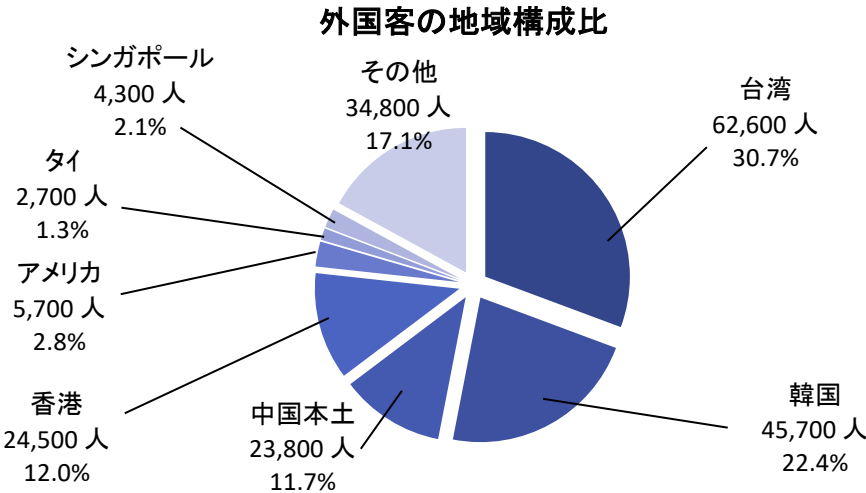
区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	62,600 人	35,700 人	+ 26,900 人	+75.4%	30.7%
韓国	45,700 人	26,900 人	+ 18,800 人	+69.9%	22.4%
中国本土	23,800 人	4,200 人	+ 19,600 人	+466.7%	11.7%
香港	24,500 人	16,300 人	+ 8,200 人	+50.3%	12.0%
アメリカ	5,700 人	2,000 人	+ 3,700 人	+185.0%	2.8%
タイ	2,700 人	400 人	+ 2,300 人	+575.0%	1.3%
シンガポール	4,300 人	2,600 人	+ 1,700 人	+65.4%	2.1%
その他	34,800 人	7,100 人	+ 27,700 人	+390.1%	17.1%
合計	204,100 人	95,200 人	+ 108,900 人	+114.4%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等23,300人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	49,100 人	35,500 人	+38.3%	37.5%	13,500 人	200 人	+6650.0%	18.4%
韓国	44,700 人	26,800 人	+66.8%	34.1%	1,000 人	100 人	+900.0%	1.4%
中国本土	7,900 人	4,100 人	+92.7%	6.0%	15,900 人	100 人	+15800.0%	21.7%
香港	16,300 人	14,300 人	+14.0%	12.5%	8,200 人	2,000 人	+310.0%	11.2%
アメリカ	2,400 人	1,700 人	+41.2%	1.8%	3,300 人	300 人	1000.0%	4.5%
タイ	2,200 人	400 人	+450.0%	1.7%	500 人	0 人	皆増	0.7%
シンガポール	3,600 人	2,600 人	+38.5%	2.8%	700 人	0 人	皆増	1.0%
その他	4,700 人	3,600 人	+30.6%	3.6%	30,100 人	3,500 人	+760.0%	41.1%
合計	130,900 人	89,000 人	+47.1%	100.0%	73,200 人	6,200 人	+1080.6%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等23,300人を含む。



令和7年（2025）1月 入域観光客数概況（確定版）

78万3,400人
対前年（R6）同月比 +15万4,200人、+24.5%
～1月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年2月25日速報版公表

②令和7年4月25日確定版公表

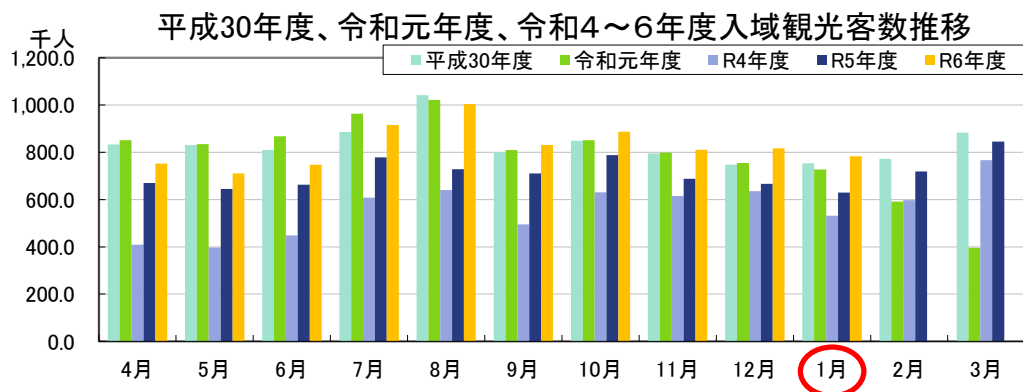
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、4月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R5年度と※H30年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	566,800人	508,800人	+58,000人	+11.4%	72.4%	523,700人
空路	565,100人	504,800人	+60,300人	+11.9%	72.1%	521,600人
海路	1,700人	4,000人	△2,300人	△57.5%	0.2%	2,100人
外国客	216,600人	120,400人	+96,200人	+79.9%	27.6%	229,800人
空路	148,400人	92,900人	+55,500人	+59.7%	18.9%	150,300人
海路	68,200人	27,500人	+40,700人	+148.0%	8.7%	79,500人
合計	783,400人	629,200人	+154,200人	+24.5%	100.0%	753,500人

※外国客には、海路における乗務員等20,900人を含む。



国内客 入域状況

1月は、年始における航空会社の増便・臨時便・季節運航があったほか、地方発着チャーター便の運航、県内発着フライ&クルーズの寄港が複数回あったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客数は単月として過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	274,400人	240,800人	+33,600人	+14.0%	48.4%
関西方面	116,500人	107,100人	+9,400人	+8.8%	20.6%
福岡方面	73,000人	67,500人	+5,500人	+8.1%	12.9%
名古屋	48,000人	44,300人	+3,700人	+8.4%	8.5%
その他	54,900人	49,100人	+5,800人	+11.8%	9.7%
合計	566,800人	508,800人	+58,000人	+11.4%	100.0%

外国客 入域状況

1月は、航空路線において那覇－上海路線（1月1日～）の増便があったことのほか、年始、春節期間中の旅行需要の高まりから、前年同月を上回った。

2月以降については、引き続き各方面からの航空路線需要が期待できるほか、台湾・中国本土・香港発着クルーズ船の寄港が複数回予定されていること等から好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【中国本土】春秋航空は4月1日から10月25日まで週4便から7便（毎日1便）に増便予定

▶【香港】4月4日（金）に清明節の祝日が、4月18日（金）～21日（月）にかけてイースターの4連休があるため、訪沖客の増加が見込まれる。

外国客 国籍別入域状況

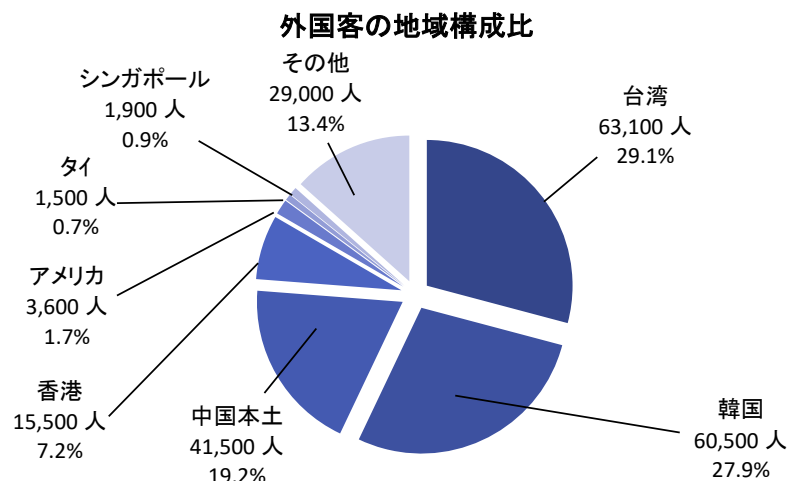
区分	R 6 年度	R 5 年度	増減数	増減率	構成比
台湾	63,100 人	52,000 人	+ 11,100 人	+21.3%	29.1%
韓国	60,500 人	28,700 人	+ 31,800 人	+110.8%	27.9%
中国本土	41,500 人	10,500 人	+ 31,000 人	+295.2%	19.2%
香港	15,500 人	11,400 人	+ 4,100 人	+36.0%	7.2%
アメリカ	3,600 人	1,600 人	+ 2,000 人	+125.0%	1.7%
タイ	1,500 人	500 人	+ 1,000 人	+200.0%	0.7%
シンガポール	1,900 人	1,400 人	+ 500 人	+35.7%	0.9%
その他	29,000 人	14,300 人	+ 14,700 人	+102.8%	13.4%
合計	216,600 人	120,400 人	+ 96,200 人	+79.9%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等20,900人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R 6 年度	R 5 年度	増減率	構成比	R 6 年度	R 5 年度	増減率	構成比
台湾	59,000 人	43,600 人	+35.3%	39.8%	4,100 人	8,400 人	△51.2%	6.0%
韓国	51,300 人	27,500 人	+86.5%	34.6%	9,200 人	1,200 人	+666.7%	13.5%
中国本土	16,100 人	5,700 人	+182.5%	10.8%	25,400 人	4,800 人	+429.2%	37.2%
香港	12,500 人	10,000 人	+25.0%	8.4%	3,000 人	1,400 人	+114.3%	4.4%
アメリカ	1,700 人	1,200 人	+41.7%	1.1%	1,900 人	400 人	375.0%	2.8%
タイ	1,400 人	500 人	+180.0%	0.9%	100 人	0 人	皆増	0.1%
シンガポール	1,800 人	1,400 人	+28.6%	1.2%	100 人	0 人	皆増	0.1%
その他	4,600 人	3,000 人	+53.3%	3.1%	24,400 人	11,300 人	+115.9%	35.8%
合計	148,400 人	92,900 人	+59.7%	100.0%	68,200 人	27,500 人	+148.0%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等20,900人を含む。



令和7年（2025）2月 入域観光客数概況（確定版）

78万1,400人
対前年（R6）同月比 +6万2,200人、+8.6%
～2月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年3月25日速報版公表

②令和7年5月26日確定版公表

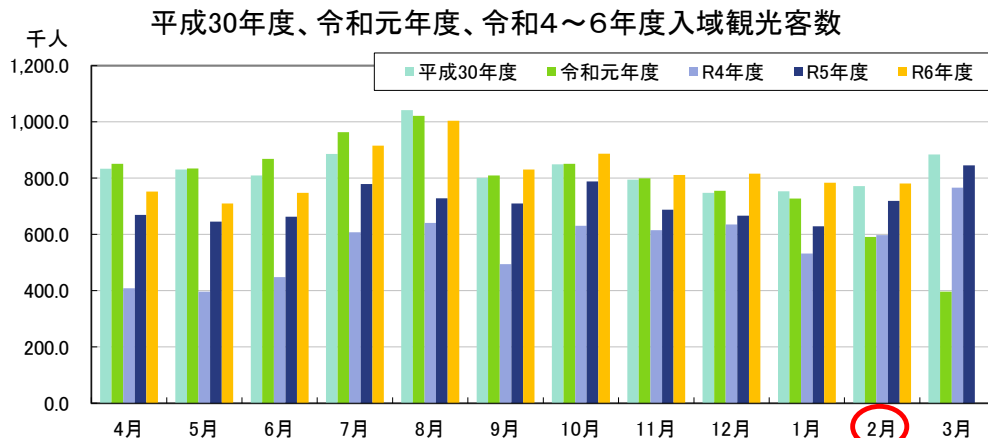
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、5月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R5年度と※H30年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	606,400人	574,400人	+32,000人	+5.6%	77.6%	532,100人
空路	604,400人	572,800人	+31,600人	+5.5%	77.3%	526,800人
海路	2,000人	1,600人	+400人	+25.0%	0.3%	5,300人
外国客	175,000人	144,800人	+30,200人	+20.9%	22.4%	240,100人
空路	130,300人	94,400人	+35,900人	+38.0%	16.7%	138,800人
海路	44,700人	50,400人	△5,700人	△11.3%	5.7%	101,300人
合計	781,400人	719,200人	+62,200人	+8.6%	100.0%	772,200人

※外国客には、海路における乗務員等12,800人を含む。



国内客 入域状況

2月は、プロ野球春季キャンプを始めとしたイベントが県内各所で開催されたほか、地方発着チャーター便の運航、各路線の輸送実績が好調に推移したこと等から前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客数は単月として過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

3月は、春休み期間中の旅行需要が期待できるほか、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	294,600人	276,300人	+18,300人	+6.6%	48.6%
関西方面	124,900人	121,400人	+3,500人	+2.9%	20.6%
福岡方面	74,700人	74,200人	+500人	+0.7%	12.3%
名古屋	54,200人	50,300人	+3,900人	+7.8%	8.9%
その他	58,000人	52,200人	+5,800人	+11.1%	9.6%
合計	606,400人	574,400人	+32,000人	+5.6%	100.0%

外国客 入域状況

2月は、航空路線において各路線の需要が引き続き高かったこと等から前年同月を上回った。
3月以降については、那覇－台中路線(3月30日～)の増便、石垣－仁川路線(4月3日～)の新規就航、石垣－香港路線(4月3日～)のデイリー運航の再開等があることに加え、台湾・中国本土発着のクルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

- トピック ▶【台湾】チャイナエアラインは那覇－高雄路線(4月6日～)を週3便から週4便に増便予定
▶【タイ】タイ・エアアジアは那覇－香港－バンコク路線(6月1日～)を新規就航予定

外国客 国籍別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	53,300 人	57,900 人	△ 4,600 人	△7.9%	30.5%
韓国	46,400 人	26,600 人	+ 19,800 人	+74.4%	26.5%
中国本土	37,400 人	16,600 人	+ 20,800 人	+125.3%	21.4%
香港	11,000 人	13,900 人	△ 2,900 人	△20.9%	6.3%
アメリカ	4,000 人	4,100 人	△ 100 人	△2.4%	2.3%
タイ	1,700 人	400 人	+ 1,300 人	+325.0%	1.0%
シンガポール	1,500 人	1,300 人	+ 200 人	+15.4%	0.9%
その他	19,700 人	24,000 人	△ 4,300 人	△17.9%	11.3%
合計	175,000 人	144,800 人	+ 30,200 人	+20.9%	100.0%

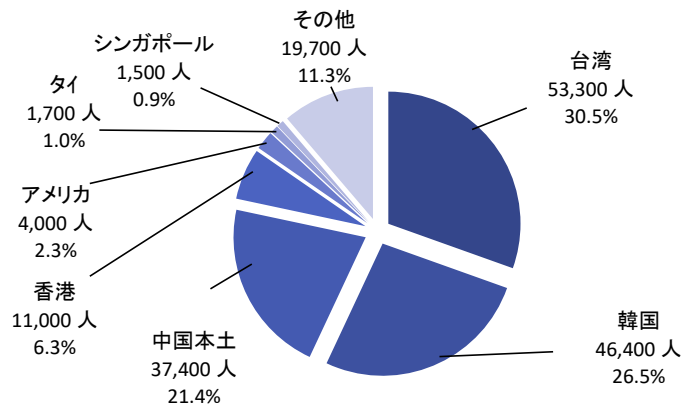
※「その他」には、海路における乗務員等12,800人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	53,300 人	44,700 人	+19.2%	40.9%	0 人	13,200 人	皆減	0.0%
韓国	46,300 人	25,400 人	+82.3%	35.5%	100 人	1,200 人	△91.7%	0.2%
中国本土	11,100 人	8,000 人	+38.8%	8.5%	26,300 人	8,600 人	+205.8%	58.8%
香港	10,900 人	10,300 人	+5.8%	8.4%	100 人	3,600 人	△97.2%	0.2%
アメリカ	1,700 人	1,600 人	+6.3%	1.3%	2,300 人	2,500 人	△8.0%	5.1%
タイ	1,700 人	300 人	+466.7%	1.3%	0 人	100 人	皆減	0.0%
シンガポール	1,500 人	1,300 人	+15.4%	1.2%	0 人	0 人	—	0.0%
その他	3,800 人	2,800 人	+35.7%	2.9%	15,900 人	21,200 人	△25.0%	35.6%
合計	130,300 人	94,400 人	+38.0%	100.0%	44,700 人	50,400 人	△11.3%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等12,800人を含む。

外国客の地域構成比



令和7年（2025）3月 入域観光客数概況（確定版）

91万2,600人
対前年（R6）同月比 +6万7,500人、+8.0%
～3月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年4月25日速報版公表

②令和7年6月25日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、6月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

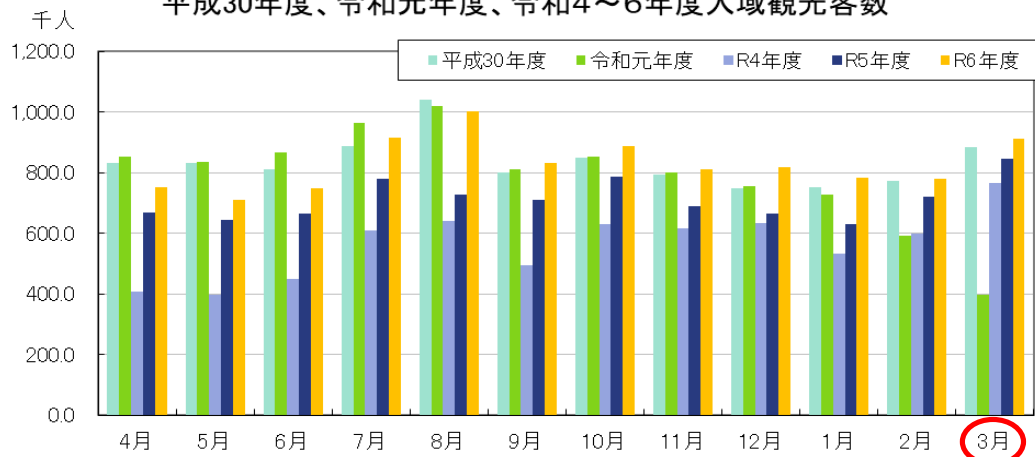
入域状況

入域観光客数（R5年度と※H30年度との比較）

区分	R 6 年度	R 5 年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	716,200 人	681,000 人	+ 35,200 人	+ 5.2%	78.5%	657,400人
空路	712,500 人	678,100 人	+ 34,400 人	+ 5.1%	78.1%	649,600人
海路	3,700 人	2,900 人	+ 800 人	+ 27.6%	0.4%	7,800人
外国客	196,400 人	164,100 人	+ 32,300 人	+ 19.7%	21.5%	226,600人
空路	138,000 人	96,700 人	+ 41,300 人	+ 42.7%	15.1%	142,100人
海路	58,400 人	67,400 人	△ 9,000 人	△ 13.4%	6.4%	845,00人
合計	912,600 人	845,100 人	+ 67,500 人	+ 8.0%	100.0%	884,000人

※外国客には、海路における乗務員等17,300人を含む。

平成30年度、令和元年度、令和4～6年度入域観光客数



国内客 入域状況

3月は、春休みの旅行需要に対する航空会社の増便、臨時便、季節運航があったこと等から前年同月を上回った。特に、東京・福岡・名古屋方面からの観光客数は単月として過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

4月は、新たな祭典である「島ぜんぶでお〜きな祭 沖縄国際文化祭2025」(4/5,6)や琉球海炎祭(4/19)等の県内イベントが開催されること、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	341,100 人	329,000 人	+ 12,100 人	+ 3.7%	47.6%
関西方面	150,000 人	140,100 人	+ 9,900 人	+ 7.1%	20.9%
福岡方面	88,700 人	87,800 人	+ 900 人	+ 1.0%	12.4%
名古屋	66,800 人	60,800 人	+ 6,000 人	+ 9.9%	9.3%
その他	69,600 人	63,300 人	+ 6,300 人	+ 10.0%	9.7%
合計	716,200 人	681,000 人	+ 35,200 人	+ 5.2%	100.0%

外国客 入域状況

3月は、航空路線において那覇－台北路線(3月30日～)、那覇－台中路線(3月30日～)の増便があったこと、台湾・韓国路線の輸送実績が順調であったこと等から、前年同月を上回った。
4月以降については、那覇－シンガポール路線(4月1日～)、那覇－高雄路線(4月6日～)の増便等があることに加え、台湾・中国本土発着のクルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

- トピック ▶【台湾】チャイナエアラインは新石垣－台北路線(5月28日～10月25日)を週2便の定期便を運航予定
▶【香港】タイ・エアアジアは那覇－香港路線(6月1日～)を新規就航予定
香港エクスプレスは下地島－香港路線(6月27日～)を運航再開予定

外国客 国籍別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	79,000 人	59,200 人	+ 19,800 人	+33.4%	40.2%
韓国	41,400 人	23,000 人	+ 18,400 人	+80.0%	21.1%
中国本土	16,700 人	18,700 人	△ 2,000 人	△10.7%	8.5%
香港	13,700 人	15,200 人	△ 1,500 人	△9.9%	7.0%
アメリカ	6,900 人	8,900 人	△ 2,000 人	△22.5%	3.5%
タイ	2,200 人	600 人	+ 1,600 人	+266.7%	1.1%
シンガポール	2,000 人	1,600 人	+ 400 人	+25.0%	1.0%
その他	34,500 人	36,900 人	△ 2,400 人	△6.5%	17.6%
合計	196,400 人	164,100 人	+ 32,300 人	+19.7%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等17,300人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	60,500 人	45,900 人	+31.8%	43.8%	18,500 人	13,300 人	+39.1%	31.7%
韓国	41,300 人	22,600 人	+82.7%	29.9%	100 人	400 人	△75.0%	0.2%
中国本土	9,300 人	6,000 人	+55.0%	6.7%	7,400 人	12,700 人	△41.7%	12.7%
香港	13,600 人	13,700 人	△0.7%	9.9%	100 人	1,500 人	△93.3%	0.2%
アメリカ	3,100 人	2,200 人	+40.9%	2.2%	3,800 人	6,700 人	△43.3%	6.5%
タイ	2,200 人	400 人	+450.0%	1.6%	0 人	200 人	皆減	0.0%
シンガポール	1,900 人	1,500 人	+26.7%	1.4%	100 人	100 人	+0.0%	0.2%
その他	6,100 人	4,400 人	+38.6%	4.4%	28,400 人	32,500 人	△12.6%	48.6%
合計	138,000 人	96,700 人	+42.7%	100.0%	58,400 人	67,400 人	△13.4%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等17,300人を含む。

外国客の地域構成比

